



THE PHENOMENOLOGICAL ASSOCIATION OF JAPAN

THE PHENOMENOLOGICAL ASSOCIATION OF JAPAN
SECRETARIAT: Rikkyo University, College of Arts, Department of Education,
3-34-1, Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, 171-8501 JAPAN

日本現象学会事務局

〒171-8501

東京都豊島区西池袋 3-34-1 立教大学文学部教育学科 河野哲也研究室

TEL: 03-3985-3569 FAX: 03-3985-3569

E-mail : paj-office@pa-j.jp 郵便振替 00980-9-109153

2016年3月12日

HP上で公開するため、プライバシーに配慮し、一部内容を変更しております。

日本現象学会会員各位

拝啓 春寒の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2015年4月より立教大学が事務局となりました。現象学会委員の皆様および会員の皆様には、様々な形での事務局運営上のご支援とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。新年度の研究大会は、高千穂大学にて開催されます。実り豊かな大会になることを祈念しつつ、今後とも皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

なお、今回の事務局便りには、事務局から電子化についてのお知らせがございますので、ご注意ください。

敬具

I. 事務局便り、研究大会プログラムの電子化についてのお知らせ

2015年度研究大会第37回委員会議におきまして、事務局からの連絡の電子化が認められました。

つきましては、事務局便りならびに研究大会プログラムのメール配信を希望されます方は、タイトルに電子メール配信希望とつけ、**paj-office@pa-j.jp** まで、お名前、ご所属、配信先メールアドレスを記載の上、メールしていただけますよう、ご協力をお願いします。メール配信の場合は、郵送は致しませんのでご了承ください。

また、事務局便り、ならびに研究大会プログラムにつきましては、HP上にアップする予定でございます。

II. 第38回研究大会個人研究発表・ワークショップの募集

第38回研究大会は、2016年11月26日（土）と27日（日）に高千穂大学（東京）にて開催されます。

a. 個人研究発表の募集

個人研究発表を希望される会員は、以下の要領で発表要旨を作成の上、事務局へ **Word ファイル**を添付の上、電子メールにて提出してください。

外国語（英語・ドイツ語・フランス語）での発表が可能です。

個人研究発表要旨応募要領

①字数制限：

(日本語での発表の場合) A4 版用紙 2 枚 (字数 3000 字) 以内
(外国語での発表の場合) A4 版用紙 2 枚 (字数 800 語) 以内
(参考文献は字数に含みます)。

②タイトル・様式など：

冒頭に、別紙でタイトル・氏名・連絡先 (住所・電話番号・メールアドレス)・所属を必ず記載してください (枚数・字数に含まず)。

③期限・送付先：

2016 年 5 月 31 日 (火) (期限厳守)

事務局 (paj-office@pa-j.jp) 宛

④備考

- ・『年報』第 32 号に論文が掲載される予定の方は、今年度は発表ができません。
- ・発表の可否は、委員による審査の上、7 月下旬頃にご連絡致します。
- ・発表可となった発表要旨は、日本現象学会のHP上で公開します。
- ・発表要旨のタイトルを研究大会での発表の際に変更することは認められませんのでご注意ください。ただし、副題を添えるなどの変更は認められます。
- ・発表原稿は、当日二部ご用意のうえ、事務局にご提出ください。
- ・個人研究発表時間は 30 分です (質疑応答は別に 15 分)。
- ・発表の際、事務局に提出する発表原稿がそのまま査読用の原稿となりますのでご注意ください。
- ・発表原稿の字数制限：(40 字×30 行×10 枚)、外国語 (5000words 以内) を厳守してください。(注については、脚注でも構いませんが、電子ファイルで受け取った時に形式がくずれることがございます。文末注を推奨します。また、総字数に入ります。参考文献も総字数に含みます)
- ・発表原稿のうち、委員による審査を通過したものが『年報』33 号 (2017 年 11 月刊行予定) に掲載されます。なお、掲載論文については、欧文レジュメも掲載されます。

b. ワークショップの募集

ワークショップ (萌芽的・実験的テーマに関する共同研究) を会員から募集いたします。以下の要領で発表要旨を作成の上、事務局へ **Word ファイル**を添付の上、電子メールにて提出してください。

ワークショップ応募要領

①企画案：

題目、オーガナイザ〔幹事〕名（所属）、提題者名（所属）、要旨（各提題者の発表内容を含む）を A4 版用紙 1 枚（字数 1600～2000 字程度）にまとめてください。別途（A4 版 1 枚）表紙に、オーガナイザの方の連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）を記入してください。

②期限・送付先：

2016 年 5 月 31 日（火）（期限厳守）

事務局（paj-office@pa-j.jp）宛

③備考・オーガナイザ（1名）は日本現象学会会員に限ります。

- ・提題者は非会員でも構いません。提題者の人数に制限はありません。なお、オーガナイザと提題者がすべて同じ所属であることは認められません。
- ・ワークショップの時間は、原則 120 分です。
- ・発表の可否は、委員による審査の上、7 月下旬頃にご連絡いたします。
- ・ワークショップ報告書（10000 字）が、『年報』33 号（2017 年 11 月刊行予定）に掲載されます。

Ⅲ. 「研究奨励賞」について

2015 年度の第 4 回受賞者は、宮原克典氏（「Perceiving other agents: Passive experience for seeing the other body as the other's body」）に決定いたしました。

各年度の受賞に当たって編集委員会で下記の条件のもとに選定の審議が進められます。

- ①受賞審査対象は、大会発表時に提出された投稿論文とする。
- ②受賞者の資格は、40 歳以下（当該年 4 月 1 日現在）とする。
- ③副賞として、受賞論文が掲載される『年報』を 10 冊提供する。
- ④「研究奨励賞受賞者」については、本人の希望を確認のうえ、「日本学術振興会育志賞」または「日本学術振興会賞」の候補として推薦する。

***また、次年度より、決定のスケジュールのほうが変更になります。**

Ⅳ. 学会費納入のお願い

2015 年度までの学会費をまだお支払い頂いていない方は、早急に納付頂きたい存じます。封筒に添付された**宛名ラベルの右下に記載された数字**をご覧ください。これが未納金額を示しています。

ご確認の上、同封いたしました郵便振替用紙にてお振り込み下さい。

(例、3000→要納入金額3,000円。0の方には振り込み用紙を同封しておりません。また、これまでの会費の納入額が規定額より多いなどにより、金額が異なる場合がありますのでご確認ください。疑義のある場合には事務局までお問い合わせください)。

なお、会費未納3年(宛名ラベル9000以上)で『年報』送付の停止、未納5年(宛名ラベル15000)で強制退会(未納分を納入しない限り再入会不可)となりますので、会費を滞納されている方はご注意ください。

V. 『現象学年報』のバックナンバーの廃棄について

『現象学年報』の電子化(現在手続き中)に伴い、在庫管理が困難となっている『現象学年報』のバックナンバー(刊行後5年以上のもの)については、38回大会(高千穂大学)で、無償配布後、残部については廃棄処分といたします。

VI. 転居先不明の会員について

現在、転居先不明等の理由で連絡がとれない方々がおられます。

3月12日には事務局より郵便にて発送しております。現在、お手元に事務局便りが届いておられない方は、事務局までご連絡をお願いします。

また、住所変更された方も、事務局までご連絡よろしくをお願いします。

VII. 会員異動のお知らせ

- ①入会(2015年度新入会者:16名)
- ②退会(2015年度退会者:8名)
- ③逝去(2015年度退会者:3名)
- ④会費滞納除籍(2015年度:4名)

VII. 事務局からのお知らせ

事務局の充実を図るため、新たな事務局員が加わりましたことをご報告します。
新事務局員: 國領 佳樹

IX. 委員会議事録要旨

2015 年度研究大会第 37 回委員会議事録要旨

日時：2015 年 11 月 7 日（土）12:30～13:50

8 日（日）12:25～13:45

場所：同志社大学（新町キャンパス・臨光館 203 室）

議題

- ①総会議長の選出 工藤委員（大会校委員）
- ②各委員会からの報告
 - a. 企画実行委員会（今年度活動報告ほか）
 - b. 編集委員会（年報 31 号発行報告、研究奨励賞ほか）
 1. 製本費の増加（入稿遅れ・欧文投稿用の抜き刷り製作のため）
 2. 学会奨励賞選考（育志賞・振興会賞の推薦）のスケジュール変更
 3. 電子化について 32 号（2016 年 11 月刊行）の刊行後、j-stage へ再申請
 - c. 国際交流委員会（今年度活動報告ほか）

HP の一部英語化
- ④2014 年度決算報告ならびに監査報告
- ⑤2015 年度予算案
- ⑥入退会審査
- ⑦2016 年度大会について
- ⑧男女共同参画・若手研究者支援WGからの提案
（承認）
 1. 公募論文審査手順（毎年共通のもの）の公開
 2. 若手奨励賞審査過程（当該年のもの）の公開
 3. 条件（育児中、体調など）を HP 等に明記のうえで、参加しやすい時間帯の発表応募を認める

（継続努力）

 - ・懇親会をより低価格にして負担の軽減と参加の促進を図る
 - ・体調が悪い人のための休憩所の設置
 - ・障害を持つ人のための質疑応答などに対する補助の検討
- ⑨事務局提案事項
（承認）
 1. 連絡関係の改善
 - ・連絡を極力メール化し、連絡を省力化、コストダウンする。
 2. 査読基準の提示
 - ・HP へ掲載予定

3. 事務局の運営費

- ・人件費・交通費等の支給

(次年度以降継続審議)

- ・会費納入における PayPal の使用
- ・常勤職員の会費の値上げ

⑩その他

- ・2017年5月の日本哲学会、学協会でのシンポジウムへの参加

以上